

患者さまへ

「術後前立腺癌に対する強度変調放射線治療の治療成績」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2011年4月～2023年3月に当院で術後前立腺癌の放射線治療を受けられた方
2 研究目的・方法	<p>前立腺癌の初回治療で手術が選択されることが多いですが、その後生化学的再発が起こることも少なくありません。生化学的再発後の治療として放射線治療が重要な役割を果たしていますが、どのタイミングで、どの因子が治療に影響するか等はまだ明確にわかっていません。</p> <p>そこで本研究では当院で術後前立腺癌に対して強度変調放射線治療を受けた患者さまの生存率、再発率、副作用について調査します。強度変調放射線治療という照射法は、照射中に放射線の強さに強弱をつけ、病変に対して集中的に照射を行うことができ、正常臓器への放射線量を低減できる方法です。</p> <p>また前立腺癌の病期、画像所見、血液データ、病理所見、放射線治療に関係したデータなどのうち何が生存率、再発率や副作用に影響を及ぼしているのか調査し、今後の治療に役立てます。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年5月予定)後～2025年3月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、病歴、前立腺癌の病期、画像所見、手術所見、病理所見、血液データ、放射線治療後の経過 等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 大村素子 湘南鎌倉総合病院 放射線腫瘍科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>